

祝祭日には
“国旗”をかかげましょう
2月11日が建国記念日
になりました

八郷伝報

N0. 138 1967. 1. 15

発行所 八郷町役場
茨城県新治郡八郷町
電話(神岡)4番
発行責任者 岩本佳之
印刷所 飯島印刷所

町の人口
男 14,165人
女 14,668人
計 28,833人
世帯数 5,664戸
(1月1日現在)

町民の皆さん明けましておめでとございます。
ここに希望に燃ゆる新春を迎えるにあたり皆様のご多幸とご繁栄を心からお祈りいたします。私は八郷町議会の議長としての職責の重大性にいまさらながら考えを新たにし、つねに私たちの背後に

は約二万九千人の町民がいることを忘れず、あくまで誠の心を持って議会の運営に、町政の伸展に努力する覚悟でございます。お陰様で今日まで大過なく越年することができました。これもひとへに町民の皆様がたのご支援、ご協力

がたが丸となり、郷土愛の精神に燃え、築き上げてきた結果と存じ、今後もこの精神で町政を進めて行きたいものです。しかしながら、真に町民の福祉を増進し、生活の安定を図り、平和八郷町をつくるためには今後幾多の重要な問題

が山積みしております。これらの諸問題の解決を図ることは、直接間接に町政を担当するわれらに課せられた責務と信じ、最大の効果があがるよう努力する覚悟であります。

すなわち、これまで八郷町が堅持してきた健全財政はあくまでも守り、教育、土木、産業面などに重点を置いて施策を行なうことはもちろん国保制度の改善、農業構造改善事業の実施などを図ることが急務であると考えます。本年は、正月早々県議会議



八郷町の夜明け <高友山から写す>



誠の心をもって 議会の運営に努力する

議長 桜井 浩 蔵

昭和四十二年
度は八郷町躍進
の年として、町
政全般にわたり
内容の充実にと
大の努力を尽くす覚悟でござ
いますので、なにとぞ町
民の皆さん倍旧のご指導と
ごべんたつをお願いいたし
ます。

感謝申し上げます。
八郷町も誕生して十一年、
着々と堅実に発展の一途を進
みつつあることは同慶にあた
えません。このことは、歴代
の町長、議会議員と町民皆様

が山積みしております。これ
らの諸問題の解決を図ること
は、直接間接に町政を担当す
るわれらに課せられた責務と
信じ、最大の効果があがるよ
う努力する覚悟であります。

員の選挙、町長の選挙、国
會議員の選挙などまことに
あわただしい正月でございます
ますが、わが八郷町は明正
選挙宣言の町として、恥ず
かしけない正しい選挙
が行なわれるよ
う希望してやみ
ません。

地改良の事業の中で推進する
ことになっておりますし、(兩
府部落实施中)煙草をはじめ
とする、果樹、畜産、養蚕、
その他十指を数える特産物の
振興育成をさらに強化するこ
とになっております。

土木事業におきましては、
県道を中心に町道の整備をや
っております。実態はご覧の
通りでございます。

石岡神岡間及び神岡小幡間
の改良舗装も本年中に完成さ
れますが、とくに、神岡、小
河川の改修が地域の災害を防
ぐ山積みしております。これ
らの諸問題の解決を図ること
は、直接間接に町政を担当す
るわれらに課せられた責務と
信じ、最大の効果があがるよ
う努力する覚悟であります。

り向う五カ年間の整備計画が
立つて実施に入りました。こ
れは国の補助による計画であ
りますのでご期待願います。
筑波、芦花、加波、吾国の
山々を結ぶ緑線道もできま
したし、国営の青少年の村の
設置も太田部より登った吾
国山の国有林一帯の地域に決
定されております。観光につ
ながる産業開発もまづべきも
のがあると存じます。八郷町
のような山間地においては、
河川の改修が地域の災害を防

旧村地区単位に設置する運
びにしたいと存じます。そ
のほか、社会教育、保健衛
生、消防施設などで町の事
業は多岐にわたっておりま
すがそれぞれ軌道に乗って
発展しております。

年頭に当りまして、私も
心を新たにしてお役に立ち
たいと念願しております。
町民の皆さんのご協力とご
べんたつをお願いしてござ
います。



町長 吉田 次郎

が、引きつづい
て来年度から、
月小保保育所の
開設をみました

心を新たに 町のために働きたい

基本なので、恋瀬川の中
心として改修をさらに推進
してゆきたいと存じます。
教育面におきましては、
神岡中学の統合校舎の新築
及び園部中学の五教室増加
もまもなく終了、本年中に
有明中学が完成を見ること
になったことは、皆さんと
ともに喜びたい
と存じます。
福祉事業につ
いては、昨年十
月小保保育所の
開設をみました

町づくりに立派な人を選ぼう

洩れなく参加し、悔いのない選挙を！

県議選も終り、いよいよ住
民にとっていちばんたいせつ
な町長選挙と国会議員の選挙
が行なわれます。
町長は、八郷町を動かす人
であり、住みよい町づくり、
明るい町づくりを推進する人
です。このように、今度の選
挙は四年に一回行なわれるた
いせつな選挙です。
みんながこの人と思われ
る立派な人を、八郷町の町長と
して、国の政治をまかせられ
る国会議員として、恥しけれ
ない人を選び、悔いのない選挙
をしたいものです。
そこで、今度の選挙に一人
でも多くの方が参加し、立派
に権利を行使できるように、不
在者投票などについてお知ら
せします。

●不在者投票
不在者投票は、町長選では
告示から、衆院選では公示日
から投票日の前日まで、やむ
を得ない仕事や事故などで
投票日に選挙区外に旅行した
り、滞在したりする人が対象
です。
手続きは町の選挙管で不在者
投票の申し込み用紙をもらい
理由を書き、雇用主の証明印
をおして届け出ればよい。選
管からこの申し込み用紙とひ
きかえに投票用紙を受け取り
書き終えたら投票用紙封筒に
入れ提出すればよい。
この不在者投票は、病院入
院中、老令者、刑務所などに
入って投票所まで行けな
い人にもあてはまります。

●代理投票
からだの不自由な人、字の
書けない人は投票所に行き、
その場で係員に申し出れば
代筆してくれます。絶対に秘
密がもれないことになってい
ます。

八郷町長の任期満了にともなう町長選挙と、八郷町議會議
員の一各員による補欠選挙が、一月二十四日同時に行なわ
れることになった。
町長選挙と同時に選ばれる町議會議員の補欠選挙は、第
六選挙区(園部地区)だけで、議員一名の欠員による選挙で
す。園部地区においては、二度投票を行なうことになり、町
長選挙の投票用紙は「黒刷り」、補欠選挙の投票用紙は「赤
刷り」となっていますから、間違いないようにしてください。

八郷町長選挙 八郷町議會議員補欠選挙

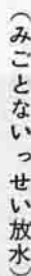
投票日は1月24日

われわれが約2カ年
間つづけてきた“明る
く正しい選挙推進運
動”は、いよいよ選挙
のためしにあうことにな
ったが、さる1月8
日の県議選で数名の違
反者が摘発されたこと
はまことに遺憾にたえない。しかし、大多
数の有権者はわれわれの運動に共鳴し、協
力してくれたことが、ひしひしと感じられ
て心強さをおぼえる。
五会地区では、友の会員有志が中心とな
って、こんどの町長選には立会演説会の開
催が自発的に計画されている。
こうして有権者の一人一人が積極的に候
補者の人物と政策を知ることにつとめ、自
主的に正しい判断をくだすことが明正選挙
の基本である。
2、3人の不心得者がでたからといって、
悲観するには及ばない。よいものをうみだ
すためには陣痛もあるだろうし、脱皮も必
要であろう。
有権者の皆さんに芽ばいた正しい政治意
識の成長を望んでやまない。



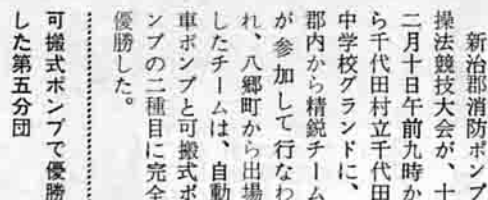
白バラ

優良団員などを表彰



塚原俊夫、田山豊、山田三樹

八郷町は二種目に優勝



大会には、郡内から自動車ボ
ンズの部に五チーム、可搬式
ボンズの部に六チームが参加
して、そのわざをきそったが
八郷町から出場した自動車ボ
ンズの本部第一分団（柿岡）
と可搬式ボンズに出場した第
五分団（片野）は、他町村の
チームを圧倒し、堂々と二種
目に優勝した。

優勝した分団は二月中旬に
行なわれる県大会に郡代表と
して出場することになった。

八郷町などが受賞

県及び県公衆衛生協議会主催の第一〇回県公衆衛生事業大会は、十二月八日午前十時から水戸市県民文化センターで開かれ、その席上、八郷町から二団体、一個人が表彰を

この大会は、公衆衛生協議
会員、市町村職員、公衆衛生

た学級生たちがこの会を結成、栄養改善、生活の合理化、家族計画と育児衛生などにつ

貧しい人にと10万円

平さん、香料の一部を

青年團女子活動部

窓愛園を慰問

町青年団女子活動部（部長 荊部法子さん）では「ふしあわせな子どもたちに少しでも喜んでもらおう」と、部長ほか一二名が、さる十二月二十五日、贈りものをもって土浦市の恋愛園を慰問しました。

88 英靈の遺族に

勲記、勲章を伝達

遺族に対する勲記、勲章の
伝達式が一月十一日午前十時

今回の伝達式では、八八英
霊の遺族に対して、町長から

伝達式を終った



五

幾層茶を丁度よく。

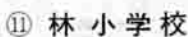
いな選挙に努力した。明正選挙宣言の町として当然

買収、供応のない選挙実現に示した大きな勇気を、さらに

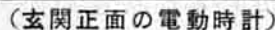
◆ ◆ ◆

悲願をふみにじり、不協力者がいたことは残念至極

だが主権在民。こんどこそ、よく監視して看板どおり一人



林小学校の校舎は、昭和二十九年に新築され、県道に沿った二階建の校舎がおもて、この中に図書館があり、読書



細なものでまいわゆる「ちりも積れば」の例えの通り有効な設備ができて学校では喜こんでいます。今後この運動をつづけて、いくらかでも町の財政にプラスしていきたいということです。

林小学校は、生徒数三四七名、職員は鶴巻校長ほか一三名、その他の職員二名。

友の会員名簿

小
幅

◎一之沢・鈴木政男、鈴木み子、田上浩、◎香取・富田義夫、鈴木辰一、岡本一郎、藤田佐一、◎細内・桜井伊久、◎上宿・安達栄助、◎下宿・飯田忠、小松崎定、小松崎ゆわ、込山春男、込山きよ、助川忠、糸賀寛二郎、桜井茂雄、鈴木政雄、鈴木しも、桜井文弥、◎横町・飯田すみ、甲七郎、飯田弘行、飯田徳次、柴精一、◎須釜・広瀬和己、広瀬恒雄、藤枝英、◎石沢・広瀬重、広瀬喜雄、広瀬桂一郎、◎上青柳・桜井好一、桜井量一郎、桜井清輝、羽生喜造、羽生登、木崎和幸、羽生威、木崎文吉、◎中山・島田盛、寺田善右エ門、神谷長治、島田光

〔荻 穂〕

◎荻内・須藤秀業、路川富士路川浄四郎、須藤信男、関豊栄、須藤佳久、富田耕吾、富



会員になるとあげます



新田 小久保 岡野 須藤 友の会 証 員 会

会員になるとあげます

田俊夫、○小屋・来栖栄一、
○新田・小林信行、岡野和彦
菊地勘二、渡辺嘉平、臼井岩
夫、福島晋、宮清次、岡野裕
誉、臼井稻之助、臼井勝、臼
井力、野村幸市、臼井源裕、

・川上栄、○北浦・岡本栄一、
青木喜一、青木昭光、桜井義
潮田恒男、福島元一、岡本実
桜井近二、菊地芳太郎、桜井
道男、福島信、岡本賢一、入
江一夫、池田清、岡本寛、桜
井文吾、青木英子、岡本りん
岡本みき、青木みよ、入江と
糸、岡本つと、青木さだ、岡
本たか、青木良子、岡本きく
江、小沢茂雄、小沢武男、○
金ヶ沢・大沼健造、岩田広司
富田七郎、岩田操、岩田清、
岩田金治、飯島一男、広瀬久
一、杉田正一、○細内・岩崎
文一、柴山金次郎、石橋忠、
竹林博、宇田甲子郎、古谷田
安一、仁平やい、仁平虎雄、

○和内・米川さく、友部正一
岡野さく、岡野清正、竹林
さく、友部忠、○仲内・石田
茂、友部惣一、菊地敏一、友
部英雄、友部ふじ子、宇田西
松、石田太、○太田・藤岡佐
代子、藤岡信義、藤岡三一、
藤岡荣治、友部広吉、藤岡正
男、刈部庄一、藤岡市之進、

○板敷・宮城とみ子、○古館
〔恋 類〕

久保田一敏、藤岡道雄、藤岡正一、久保田昭、飯村益、藤岡君雄、飯村英夫、谷仲清治郎、広瀬主税、鈴木忠志、鈴木勝美、藤岡喜雄、谷仲正一郎、◎小見・内田猛、高野利雄、大岡藤太郎、柏原誠、◎半久・吉田恒雄、郡司義一

〔瓦 会〕

◎上宿・小河原正男、広沢清佐谷四郎、谷島不二夫、◎下宿・鈴木恒、谷島昇、◎両桁山寺・桜井きん子、石田勝次郎、岡野和夫、石田重夫、川田重雄、長谷川幸男、川田くに、川田長、鈴木正三、増子清珉、岡野林、大塚安国、宮部重、桜井栄、白田清、長谷川勝一、宮部博、梅沢俊男、桜井義昭、増子大珉、石田延生一、高野竜雄、藤岡正二、岡野豊、石田新一郎、長谷川恒夫、石田四郎、岡野春吉、大川清一、長谷川明、池田文男、長谷川治雄、大場信、路川忠直

八郷町
◎県保健所長会長感謝状
瑞穂会
いはらき赤
ちゃん大会
広明ちゃん入賞
第一一回「いはらき赤ちゃん大会」の表彰式が、さる十二月九日水戸市の茨城新聞ホールに県内から五七名の赤ちゃんが参加して行なわれたが八郷町代表の藤岡広明ちゃん（太田、喜雄氏の長男）は、しいのみ賞に入賞した。
この日集まったのは、県内各地区保健所管内代表の優良赤ちゃんばかりで、「くるみ賞」「しいのみ賞」「努力賞」「エンゼル賞」などについて審査員の厳正な審査の結果、広明ちゃんが「しいのみ賞」に選ばれたものです。
「しいのみ賞」に選ばれた広明ちゃん、知事賞など賞

から親公民館で行なつた。今回の伝達式では、八八英霊の遺族に対して、町長から勲七等旭日章などの勲記、勲章が手渡され、このあと町長のあいさつや懇親会があつて伝達式を終つた。

片言

県議選挙で町民そろってきれいな選挙に努力した。明正選挙宣言の町として当然

買収、供応のない選挙実現に示した大きな勇気を、さらにさらに前進させたい

町議会の一部に、町民のこの悲願をふみにじり、不協力者がいたことは残念至極

だが主権在民。こんどこそ、よく監視して看板どおり一人の誤りもなくしたい

補正予算など6議案を可決

有線放送 確立の意見書を大臣へ

もなう審議が行なわれ、桜井議長、原田副議長は留任と決定した。可決された議案は次のとおりです。

町民税の退職所得の課税方法変わる

町税条例の一部を改正するもので、これまでの退職課税基準が変わったものです。これまでは、ほかの所得と合算して翌年度の町民税に課税したものを、今年から分離し、退職したその年に課税することになった。課税額は約一〇％減税になり、退職手当の支給者が特別に源泉徴収することになった。

町税条例の一部を改正するもので、これまでの退職課税基準が変わったものです。これまでは、ほかの所得と合算して翌年度の町民税に課税したものを、今年から分離し、退職したその年に課税することになった。課税額は約一〇％減税になり、退職手当の支給者が特別に源泉徴収することになった。

町税条例の一部を改正するもので、これまでの退職課税基準が変わったものです。これまでは、ほかの所得と合算して翌年度の町民税に課税したものを、今年から分離し、退職したその年に課税することになった。課税額は約一〇％減税になり、退職手当の支給者が特別に源泉徴収することになった。

町税条例の一部を改正するもので、これまでの退職課税基準が変わったものです。これまでは、ほかの所得と合算して翌年度の町民税に課税したものを、今年から分離し、退職したその年に課税することになった。課税額は約一〇％減税になり、退職手当の支給者が特別に源泉徴収することになった。

町税条例の一部を改正するもので、これまでの退職課税基準が変わったものです。これまでは、ほかの所得と合算して翌年度の町民税に課税したものを、今年から分離し、退職したその年に課税することになった。課税額は約一〇％減税になり、退職手当の支給者が特別に源泉徴収することになった。

第4回定例議会

昭和四十一年最後の第四回定例議会が十二月二十二日午前十時三十分から議場で開かれた。

この議会では、一般会計補正予算など六つの議案を審議し、原案どおり可決したあと、正副議長辞職に

新しい組合の加入や名前の変更など、県市町村職員退職手当組合規約の一部を改正したもので、

茨城県旧市町村職員退職手当組合規約の一部を改正したもので、

市町村道のうち、関係市町村の同意をえて農業重要道路の整備を行なうことなど

41年度の予算

収入

分担金五百二十二万二千円

県補助金一千六十七万七千円

組合債七百万円、諸収入一千円

で、総額は二千二百九十万円です。

支出

議会費三十四万四千円

総務費八十一万二千円

農林水産費二百四十六万九千円

これは、施設、設備費などのほかに、ドレーパー、ショベルブルドーザー、ホイールトラクターなどの購入費がおもなものです。

公債費二十二万八千円

予備費四万七千円

以上です。

市町村道のうち、関係市町村の同意をえて農業重要道路の整備を行なうことなど

41年度の予算

収入

分担金五百二十二万二千円

県補助金一千六十七万七千円

組合債七百万円、諸収入一千円

で、総額は二千二百九十万円です。

支出

議会費三十四万四千円

総務費八十一万二千円

農林水産費二百四十六万九千円

これは、施設、設備費などのほかに、ドレーパー、ショベルブルドーザー、ホイールトラクターなどの購入費がおもなものです。

公債費二十二万八千円

予備費四万七千円

以上です。

共同事業を推進する

石岡地区農業近代化施設整備組合では、このほど管理者などの役員が決定しました。

この組合は、石岡市、小川町、美野里町、出島村、千代田村、八郷町、玉里村の一市三町三村が協力して農業近代化のため、市町村間で協力しなればできない仕事を処理してゆこうというものです。

そこで、この組合の役員及び事業などについてお知らせしましょう。

役員

管理者 野口 一(玉里村)

副管理者 大和田 健三郎(石岡市長) 滑川清(美野里町長)

共同事業

機械を使用し、耕地の深耕

農道の整備並びに開闢

家畜ふん尿処理施設の設置

組合立営農研修施設の設置

育苗圃、果実中継集荷所、共販センター、幼稚園、施設、大雑倉、食糧処理所、繁殖センター及び豚検査所に関する計画立案、指導に

共同事業

機械を使用し、耕地の深耕

農道の整備並びに開闢

家畜ふん尿処理施設の設置

組合立営農研修施設の設置

育苗圃、果実中継集荷所、共販センター、幼稚園、施設、大雑倉、食糧処理所、繁殖センター及び豚検査所に関する計画立案、指導に



有明橋

橋長 3.5m 幅員 3.9m

工事費 39万円

地区名	延長(m)
上青柳	20
真家	40
半田	36
東成	40
下林	18
根小屋	36.6
大増	55
太田	8
柿岡	99
宇治	12
小谷	20
小瓦	6
小幡	24
小幡	22
小幡	58
小幡	29

地区名	延長(m)
上青柳	3
真家	40
半田	36
東成	40
下林	18
根小屋	36.6
大増	55
太田	8
柿岡	99
宇治	12
小谷	20
小瓦	6
小幡	24
小幡	22
小幡	58
小幡	29

地区名	延長(m)
上青柳	3
真家	40
半田	36
東成	40
下林	18
根小屋	36.6
大増	55
太田	8
柿岡	99
宇治	12
小谷	20
小瓦	6
小幡	24
小幡	22
小幡	58
小幡	29

地区名	延長(m)
上青柳	3
真家	40
半田	36
東成	40
下林	18
根小屋	36.6
大増	55
太田	8
柿岡	99
宇治	12
小谷	20
小瓦	6
小幡	24
小幡	22
小幡	58
小幡	29

地区名	延長(m)
上青柳	3
真家	40
半田	36
東成	40
下林	18
根小屋	36.6
大増	55
太田	8
柿岡	99
宇治	12
小谷	20
小瓦	6
小幡	24
小幡	22
小幡	58
小幡	29

地区名	延長(m)
上青柳	3
真家	40
半田	36
東成	40
下林	18
根小屋	36.6
大増	55
太田	8
柿岡	99
宇治	12
小谷	20
小瓦	6
小幡	24
小幡	22
小幡	58
小幡	29

地区名	延長(m)
上青柳	3
真家	40
半田	36
東成	40
下林	18
根小屋	36.6
大増	55
太田	8
柿岡	99
宇治	12
小谷	20
小瓦	6
小幡	24
小幡	22
小幡	58
小幡	29

衆議院議員総選挙

最高裁判所裁判官国民審査

投票日は1月29日

県議選の開票結果

投票率 男78%、女71%

1月の納税

町民税 第4期

国保税 第4期

麦共済掛金

有線放送使用料

1月31日までに

耕地の異動申告は

住民の税の適正公平を期すための課税資料として、耕地などの異動申告書のとりまとめを行なっています。

耕地などの異動のあった場合は、次の要項によって申告書を一月三十一日までに税務課まで届けてください。

◆総選挙ということ

県議選は汚職解散、こんど総選挙の争点は「政治の姿勢を正す」ということで、どちらか黒い霧の一角がおもな目的とされているが、民主主義時代二十年のいまごろになって、政治浄化のための総選挙とは、何んともやりきれないと思う人も、たくさんあることだろう。

◆民主主義を常道に

実際には、どのような選挙をしたらよいかわからないことになると、いろいろむずかしいこともあるが、このさい有権者はいささかの過去の慣例やつながらりから離れて、とにかく議会の民主主義を常道にもとずために努力しなければならぬ。

◆有権者にも責任

こんなことになった一つには、有権者の責任もまぬかれ

◆選挙で正しい批判を

政治への正しい批判が

一票に生かされる



紙上講座

ない。明るい選挙、きれいな選挙と、あれほどいわれつつけてきたにもかかわらず、年賀状一枚ももらった人情にほだされて一票を投じたり、後援会の総会でみやげのお礼が一票に変わったたり、地元で急行列車をためたり、橋や道路をつくるのが政治だと考えてしまった。

また、「私の一票が何の役に立つの」とはじめてから投じている人もある。残念ながら、これらは批判精神の盛んな若い人のなかには、しばしば見かけるのだが、考へなおしていただけないのだろうか。

たしかに、政治に失望し棄権したいと思う気持ちも理解できるけれども、いまの選挙にはいいのは、その純粋な批判なのではないだろうか。それが一票に生かされてこそ、政治をよくすることができ、投票は唯一の機会であることを信じて。

この選挙、ほんとうに明るく正しい選挙をしなければならぬ。政治の側でも、自由民主党は立候補を厳選して、選挙を闘うというし、金の力から選挙を闘うという、野党一致して宣言している。この八郷町は、その前に「明るく正しい選挙の町」を宣言したのだ。文字どおり、それが守られるかどうかというところに、やはりの有権者の目が光っていないければならぬ。

代表130名が参加

郷土をよくする研究会

具体的な問題をみんなで研究



↑ まとめが発表された全体会

■第一分科会

マ 教養を高め明るく豊かな生活を築くためには

「郷土をよくする研究会」の中央集会在、さる十二月九日午前九時三十分から八郷公民館に各種団体の代表者一三〇名が参加して、かっぱつに話し合いが行なわれた。この集会是毎年行なっているもので、町民が一堂に集まり、住みよい町をつくるため地域の具体的な問題を研究課題として取り上げ、話し合いをとおして住民意識を高め、明るい豊かな郷土をつくらうというものである。

開会式は、公民館長の開会のあいさつ、そして町長のあいさつ、そのあと方向づけがあつて、それぞれ三つの分科会に別れテーマを中心にして熱心な話し合いがもたれた。昼食のあと、全体会が開かれ、分科会が話し合ったまとめが発表された。最後に質疑応答、指導講演などがあつて中央集会を終了した。

この集会にも多くの問題が提起されたが、一つでも多くの問題が解決され、明るい町が生れてほしいものです。

■第二分科会

マ 農業の近代化を図るためにはどうしたらよいのか

①農業構造改善をどのように進めたいか
②農業構造改善事業は非常にむづかしい。町の実施計画を聞きたい
③経済課長が事業の内容をくわしく説明
④町の構造改善事業と石岡台地土地改良事業と混同して事業のやりなおしという心配はないか
⑤国有林の払い下げによって耕地の拡大、農地の造成を図ってはどうか
⑥経済課と農業委員会は一協力して農業の近代化を推進しては

■第三分科会

マ 明るく正しい選挙を推進するためには

①友の会の育成を図るためにはどうしたらよいのか
②有線放送、町広報によりPRするののも一つの方法ではあるが、もっと積極的に友の会班長が戸別訪問をしてすすめる方法が、会員増加には効果的ではないか
③戸別訪問し勧誘することもよいが、強制的にすすめるべきではなく、意見を交換し、賛同者をつくる
④会員は多くするべきである。そして多数の会員に明正選挙の自覚を促すことが必要である
⑤会が中心となり、政治学習の場を設け少しでも認識を深め、自主的な加入の方向に努める
⑥この運動は非常にむづかしいので、少しづつ積み上げ長期的に行なう
⑦政治学習をかっぱつにするためにはどうしたらよいのか
⑧学習を行なうにも人集めが困難であるので、各種団体の長の協力をえて、短時間でも学習の場を持たせてもらい多数の者に政治に関心を持たせるようにしてはどうか

○著名な講師を招き学習をするのも一つの方法と思う
○知識人でも事実違反しているのが現状ではないか。知識の昂揚を図ることよりも考えかたを変える教育をすべきではないか
○区を単位として集会を持つ方が易く参加できる
○学習を行なう時期は、当町の大多数は農家であるのでできる限り農繁期を避け、農閑期に数多く行なってもらいたい
○学習内容は、現実に則したものにしてもらいたい
○基礎的な政治学を学ぶのもよいが、選挙違反など身近なことを知りたいのが現状であるので、具体的事例を提示し勉強したのがよい
○警察を招き、話し合いに加えるのもよいと思う
③正しい選挙運動について話し合う
○陣中見舞、当選祝に酒などを持って行かないようにする
○人物を正しく判断し、優秀な人物を選ぶこと
○正しい選挙運動にするには正しくない運動を減らすことである
○違反行為にはいろいろあるが、買収、供応について重点的に勉強し、このような違反をなくすることが先決である
○友の会員は選挙ができないというのではないので、支持者があればほとんど合法的な運動をしてもよい

お年玉玉きに吾子の機嫌よし
出稼の父を待つ夜や大吹雪
初日影東天紅の尾の長く
初旅す師に寄る鯛に餌撒きたく

俳句

友送る者らし車窓の近くに
サイレンの鳴り響く空晴れ渡り
御用納めも滞りなくすむ

山々に低く白雲なびかせて
明け行く年の野山いつくし

元日の屋敷に酔ひつつ
川又 大岐口 栖風

富士は隔れる南水航路振った
結ぶつららの解けゆく水も切れぬ
晴れて二人が添う身となつて
元朝詣りの清浄心を捨てぬ

俳句

柴内 以後崎喜代
小見 高野風
東成井 小池西保
選者

俳句

増子 海哉選
吉田 次郎選
林 嶺月選
選者

俳句

増子 久子
千田 政市
田上 岳尾
選者

俳句

川又 大岐口 栖風
山崎 荒井 岳山
結ぶつららの解けゆく水も切れぬ
晴れて二人が添う身となつて
元朝詣りの清浄心を捨てぬ

俳句

選者

くらしのそと

“しもやけ”に強くなる方法